

特殊詐欺被害等の情報（件数・被害額は「速報値」）

特殊詐欺被害等の認知状況（令和7年10月31日現在）

①件 数	6件	前年同期比+1件
②被害額	1,400万円	前年同期比+971万円
③サギ電話	107件	前年同期比+38件

令和7年3月中に認知した特殊詐欺の手口

手口分類	手口の内容
息子騙り 警察官騙り 架空請求	●3月上旬、自宅固定電話に息子を騙る者から「ポリースで検査入院してしまい契約会社のめにかかるお金を今日中に400万必要だ」。「270万貸して欲しい」等と言われ、270万円を自宅にきた上司を名乗る男に270万円の現金が入った紙袋と上司を名乗る者に対して交通費5万円を手渡したもの。 ●3月下旬、携帯電話にメールで「未払いが9万9,600円ある」等の内容を信じ、指定された電話番号に連絡したところ、日本ネットワークセキュリティ協会を騙る者から「あなたの携帯電話がフィッシングの被害に遭っている」等と言われ、さらに捜査2課の警察官を騙る者から「犯罪になる」など言われことから数回にわたって指定口座に296万9,600円を振り込んだもの。

3月中の街頭犯罪・特殊詐欺にみる傾向と防犯ポイント

① 街頭犯罪

【自転車盗】

3月の発生状況は、清水駅前交番、草薙交番、桜橋交番、相生交番等の駅周辺駐車場及び自宅敷地内の無施錠の自転車が盗難に遭っています。

【自動車盗】 完全施錠された国産高級車が自宅敷地内駐車場から盗まれています。

【万引き】

ドラッグストア1件、スーパー等6件、コンビニエンスストア1件。3月に入り、車上ねらいや部品ねらいなどの件数の増加が顕著となっています。車内の貴重品の置き忘れや自転車の前かごに荷物を置くことが被害

② 特殊詐欺と投資ロマンス詐欺

【被害状況】

●本年に入って特殊詐欺認知件数は、清水警察署管内で6件、被害額1,400万円と高水準で推移している状況です。最近の被害は、固定電話のほか、携帯電話への自動音声による誘導被害など手口も多様化、複雑化している状況です。振り込む前に、家族や警察に相談してください。

●3月の投資・ロマンス詐欺認知件数は、清水警察署管内で1件、被害額114万4,658円です。

《電話機対策の推進について》

特殊詐欺の被害防止には、「犯人からの電話を受けないこと」が重要です。詐欺電話をかけてくる被疑者は、「留守番電話設定」や「防犯機能付き電話」の場合には、直ぐに電話を切ることが多いです。

NTTでは、70歳以上の家族がいる一般家庭世帯の回線を対象としたナンバーディスプレイ及びナンバーリクエストを無償化する取り組みを継続実施中ですので、この取り組みを利用するよう広報願います。